



●県立高校特色選抜・A 海外特別選抜における降雪への対応について

栃木県教育委員会より通知がありました。横川中HPに掲載していますのでご確認ください。

●1・2年生へ ～自分を知り、職業を知り、進路について考える～

本校のキャリア教育は、総合的な学習の時間でも進められており、1年生では職業についての講話、2年生では職業体験並びに上級学校の調べ学習等を通して、自身の適性や将来の進路について学んでいきます。

一言に職業と言っても、我々の目に見える職業だけでなく、その職業を裏側で助ける職業など、様々なものがあります。調べた職業を学級などで共有することで、自分の将来について考えを深めてほしいと思います。興味のある職業から将来進むべき進路を考えることができます。2年生については、県立高校の受検校決定まで、あと1年を切っています。上級学校のことや受験の方法、制度のことなどをよく調べておきましょう。

●第2回進路希望調査の結果について

昨年、2度にわたり進路希望調査が行われました。期限までの提出にご協力いただきありがとうございました。第2回進路希望調査の集計結果が、1/8(木)に県教育委員会のHPと1/9(金)の下野新聞にて発表されました。横川中学校HPの「進路情報」からも閲覧できますので、ご覧ください。

3年生はもちろんのこと、受験まで1年を切った2年生や、職業について学ぶと同時に上級学校に関心を持っている1年生にとっても、興味深いところだと思います。ここで、「倍率」の考え方について紹介したいと思います。

1・2年生へ 今のうちに知っておこう。入試のアレコレ。

倍率… ～「定員より20人多い」は同じでも～

定員20名の学科に40名が志願している場合と、定員280名の学科に300名が志願している場合を考えてみましょう。下の表のように定員より20人多いことはどちらも一緒ですが、**A科は、志願者数の半数が合格することとなり、B科の場合は受検者のほとんどが合格することになります。**「定員より20人多い」ことは同じでも、**状況が全然違う**ことが分かります。

表1 倍率の例

同じ「20人の違い」でも、志願者数を定員で割った「**倍率**」という表し方により、「**受検者の〇人に一人が合格する**」という形で比較することができます。

	定員	志願者数	倍率
A科	20名	40名	2.0
B科	280名	300名	1.07

A科の倍率は2.0倍、B科の倍率は1.07となります。右の表は極端な例ですが、同じくらいの数字が並んでいる場合に、倍率による表し方が役立ってきます。

※倍率が1より少ないとしても、全ての志願者が合格するとは限りませんのでご注意ください。

●横川中学校HPには、「進路情報」コーナーがあります。

横川中学校HP内には、「進路情報」というコーナーがあります。そこには、宇都宮市内私立高校のHPや県立高校入試に係るWebサイト(県教育委員会内HP)などへのリンクを多数掲載しております。高校入試関係の情報を手に入れやすくするために随時更新しておりますので、是非ご活用ください。

掲載トピック: 「**県立高校入試関係**」 「**奨学金**」 「**就学支援制度**」 「**私立高校関係**」
「**小山高専**」 「**miraicompass(ミライコンパス)**」 「**私立通信制・高等専修学校**」